

を設置し
た。帰国
客らのた
路を活用
も用意さ

毛利春

グラライ空
ミナル2階
社や在外公
ターが設け
定便がキャ
証関係の手
ースは移民
応した。
を訪れたデ
在住者によ
島のバルジ

東都大準硬式野連と提携

青年スポーツ省 五輪まで日イで野球指導

青年スポーツ省と日本の

東都大学準硬式野球連盟は26日、インドネシア野球発展に向けた覚書を結び、提携を発表した。2020年の東京五輪まで、インドネシアで日イ親善大会を毎年開催し、選手指導や用具提供などを行う。

日本側では18年8月から1カ月間、同連盟所属の日本大学準硬式野球部が、代表レベルの選手や指導者をインドネシアから受け入れ、育成プログラムを実施

する計画。

同連盟は、昨年につき2回目となる日イ親善野球大会や野球教室を行うため、22日から選手40人を含む51人がバリ州デンパサール市内入り。調印式は26日、同市内のホテルで行われた。

青年スポーツ省スポーツレクリエーション部門のハムカ・ヘンドラ・ノエル補佐官は調印式で「野球を根付かせ発展させていくために、覚書締結は大きな意味を持つ。来年のアジア大会

や19年の東南アジア大会へ向け、双方の協力を強化していく」と期待を述べた。

同連盟の長島幸雄理事長は「昨年につき親善大会を開催でき光栄。野球文化の浸透に向けて準備してきた計画を迅速に進行できると強調した。(中島昭浩)



調印後、記念撮影する長島理事長(左)とハムカ補佐官。インドネシア野球代表チームの野中寿人総監督提供

とかかっていた」と話した。

基地局鉄塔倒れ 民家4棟が被害

東ジャカルタ

東ジャカルタ区チパユンで26日昼すぎ、基地局の鉄塔(高さ25メートル、直径1・1メートル)が倒れ、民家4棟を破壊した。けが人はなかった。地元メディアが報じた。

鉄塔は大手通信事業者、テレコムセル用。事故当時、強風が吹いていたというが詳しい倒壊の原因は分かっていない。

一部報道によると、鉄塔の管理業者が、民家の被害補償を約束しているとの情報もある。(上村夏美)